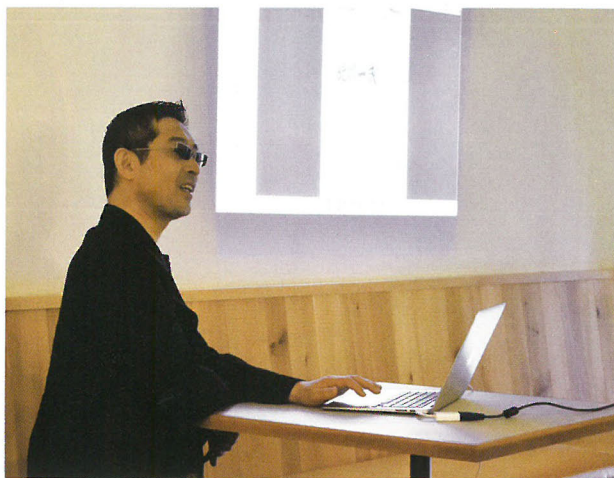


EVENT REPORT



寮生は半数が留学生。日本人と外国人が生活をともにし、テーブルを囲んで幅広い話題で盛り上がる、まさに国際交流のプラットホーム的な存在だ。



リノベーションした京都精華大学「木野寮」で
北川一成氏のデザイン講習会を開催しました！

北川一成の

デザイン教本

VOL.3



北川一成 グラフ株式会社 代表取締役／ヘッドデザイナー

(きたがわ・いっせい) 1965年兵庫県加西市生まれ。筑波大学卒。89年GRAPH(旧：北川紙器印刷株式会社)入社。"捨てられない印刷物"を目指す技術の追求と、経営者とデザイナー双方の視点に立った"経営資源としてのデザインの在り方"の提案により、地域の中小企業から海外の著名高級ブランドまで多くのクライアントから支持を得る。2001年、書籍『NEW BLOOD』(発行：六耀社)で建築・美術・デザイン・ファッションの今日を動かす20人の1人として紹介。同年国際グラフィック連盟の会員に選出。04年、フランス国立図書館に多数の作品が永久保存される。08年、『FRIEZE ART FAIR』に出品。11年秋、パリのボンビッドゥーセンターで開催される現代日本のグラフィックデザイン展の作家15人の1人として選抜。NY ADCや、D&AD Awardsの審査員を務め、国内外で高い評価を受ける。TDC賞、JAGDA新人賞、JAGDA賞、ADC賞など受賞多数。

https://www.nikkei.com/article/DGXLASJB21H0A_R20C15A8AA1P00/
<http://www.kobegakou-blog.com/blog/2006/05/post-6015.html>

誰よりもスタンダード。
誰よりもプロフェッショナル。
北川一成が少しずつ語る、
デザインのはなし

フランスから帰国した僕は、筑波大学の芸術専門学群を受験することになりました。受験日の前日、僕は宿泊した筑波のホテルで夢を見ました。砂丘のような場所、僕はあのイサム・ノグチに彫刻の手伝いを頼まれます。正方形と直角二等辺三角形を使った彫刻で、僕は制作を任されました。夢中で制作していると、イサム・ノグチは僕にすべて任せて何処かへ行ってしまう。彼の図面を眺めながら、さすがイサム・ノグチ！と感心し、やつと作品を完成したところで、僕は夢から覚めました。不思議な夢に気分上々で受験会場に向かいましたが、出題された問題が、なんと夢とまったく同じ立体造形。50センチ立方の空間に収まるよう実際に制作しろ、というものでした。驚きながらも、僕は夢の図面を思い出し、イサム・ノグチの立体を再現しました。帰宅し、通っていた受験専門の美術学校で、僕の作った立体のことを話すと、それまで合格は難しいと話していた先生が「これなら受かる。現代アートのコンペにも通用する作品だ」と、えらく褒めてくれました。僕の夢なので現実にはイサム・ノグチはこんな立体を制作してないんですけどね(笑)。

こうした幸運にも恵まれ、はれて僕は筑波大学に入学。大学には、フランスの叔父の周りにいたような、真面目で、見識が深い人たちにたくさん出会えると信じていました。しかし、多くの大学生がそうであるように、僕の大学生活は飲み遊ぶ毎日でした。大学の授業はそつちのけで、同郷の仲間と会を作つてつるみ、夜遅くまで騒いでいました。「入試の立体を見て、君は才能があると思つていたのに」。教授や仲間からも失望される毎日に、僕はもう一度自分の人生を見つめ直そうと思いました。そんなとき、修士にいた先輩が、プロアマ問わずの現代アートの絵画コンペに僕を誘ってくれたのです。僕は毎日、先輩よりも頑張ろうと、先輩の部屋の灯りが消えてからまずつと制作し続けました。出展できるのは3点。僕は納得いくものを7点完成させ、先輩に見せながら3点に絞りました。同様に先輩も、作品を絞るのを手伝つてほしいと、部屋に招いてくれました。部屋に入った途端、衝撃が走りまわりました。そこには60点以上の作品が、すべて完成され、並べられていたのです。その量とクオリティに圧倒され、実力の差を痛感しました。結果は、先輩はグランプリ、僕は3位。翌年、僕は準グランプリを獲得しますが、このときから、絶対数でもクオリティでも負けたくない、と心に誓いました。「歴史の表舞台に、あまねく残る人になる」。幼いころ、どんなに絵が表彰されても、ピカソやダヴィンチと比べて、僕をまだまだだと叱咤激励してくれた父に約束した言葉です。僕は大学で、多くの勉強をせねばならない。そう思い直し、次の日から僕の勉強は始まりました。

▼京都精華大学「木野寮」にて

フラットエージェンシーが国際交流のプラットホームをコンセプトにリノベーションし、運営している京都精華大学「木野寮」。冷暖房などの家具やWi-Fiも完備し、食事付きなこともあつて入居希望者が後を絶たない。

1階のダイニングは数十名がゆつたり座れる広さで、四季の変化が美しい窓、木をメインにした調度、瀟洒なランプが灯る心地よいつくり。開放的なウッドデッキベースやラウンジも併設されている。

寮を運営するフラットエージェンシーは、「学生同士や地域など、人と人との交流を大切にしたい」との思いから、この木野寮のダイニングスペースを、「学びの場」として提供。社会の第一線で活躍する講師らを招いた講座やイベントを企画している。

その記念すべき第1回となつたのが、4月19日開催の、グラフィックデザイナー北川一成さんによる「デザイン講習会」。デザインや油絵を専攻する学生や、デザインに興味のある社会人など、募集人員を上回る人数が集まつた。北川さんの笑いを誘うトークに、皆、ぐいぐいと惹き込まれていく。

地域の企業から、誰もが知る海外高級ブランドまで、多くのクライアントの支持を得る北川さんは、「デザインは人の心に響かせてナンボ」と語り、人の脳の認知や行動学、心の動きについて解説。常に5冊の本を持ち歩き、哲学や生物、歴史などあらゆるジャンルに造詣が深い北川さんの、広い視野から解くデザイン論に、感嘆の声が上がり、多くの人がノートにペンを走らせた。参加者からは、「リアルな話が参考になつた」「社会人になつても学び続けたい」などの感想や、早くも次回の講座への期待も。まるで大学のゼミのようなアットホームな雰囲気は終始包まれていた。

お部屋探しはフラットエージェンシー

フラットエージェンシー

フラットエージェンシー
本店営業部



京都市北区紫野西御所田町 9-1 /
☎0120-75-0669 / 10時～18時(毎週火曜
日・第2水曜日定休) / <https://flat-a.co.jp>

最寄りバス停は「北大路堀川」